

念ずれば花ひらく

玉名市立玉南中学校便り
令和8年4月10日(金)
第1号 文責:校長 森川孝巳

4月9日(木)、多数の来賓の方々と保護者、在校生に温かく見守られ、盛大に入学式を行うことができました。

令和8年度は、全校生徒129名(1年生41名、2年生39名、3年生49名)、教職員20名でスタートします。

校訓である「誠実・生气・創造」のもと、職員一同、情熱と愛情ある本気の教育に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお祈りします。



令和8年度 学校教育目標

「自立型人間の育成」

～命を大事に 人を大事に 心を大事に 物を大事に～

自立型人間とは、①自分のことは自分でやるという「社会的自立」と、②今何をすべきか、何が大事なのか自分で考え、正しい判断や行動ができる「自律」を身につけた人のことです。自立型人間になるためには、常に夢や目標をもち、その実現に向けて、自ら具体的方法を考え、粘り強く努力し、最後までやりきる習慣を身につけることが大切です。

中学生期は一番成長する時期であり、自分を変えていくことができる大切な時期です。授業やスポーツ・学校行事などすべての教育活動に、次の2つのことを意識して本気で取り組み、自立型人間をめざして行ってほしいと思います。

<校訓>

【自律】自ら気づき考え行動する力

【協働】多様性を尊重し、ともに学び高め合う力



また、「めざす生徒像」を①自他を大切にし、礼儀正しい生徒 ②忍耐強く、たくましい生徒 ③自ら学び、ともに高め合う生徒としました。自分や周りの人のよさをたくさん見つけ、友達や先輩、先生方とともに、充実した楽しい中学校生活を送ってください。

そして「みんなと出逢い、一緒に学ぶことができ、本当によかった」と思えるような学校をみんなであつくりましょう。



学校便り「念ずれば花ひらく」は、荒尾市出身の詩人、坂村真民さんの詩の一つで、私の大好きな言葉の一つです。

「念ずれば花ひらく」とは、ただ願っていただければ思いが叶うという意味ではありません。「こうしたい」、「ああしたい」という思いを叶えるために、寝ても覚めても思い続けるくらいの強烈な思い(これを「念」という)で、一心不乱に努力し続ければ道がひらけてくるという意味です。

自分が何かをやるようとしている時に、周りの人から「そんなことできるわけがない」と言われることもあると思います。しかし、そのような声に動かされることなく、「いや、それでも私は何としてもやりたいのだ」という信念を伴った思い(念)が不可能を可能にしていくのです。多くの方が、「こうしたい」と思っても、すぐ「できない理由」を考え始めます。だから実現しないのです。人間の思いというのは、我々の想像を超えて凄まじいパワーを秘めています。何か新しいこと、困難なことに挑戦する時ほど、「絶対実現させるんだ」という強い思い(念)を持ち続け、自分を信じて本気で努力し続けることが成功の秘訣です。これは世界共通の「成功の法則」なのです。

だから、皆さんには自分を信じて夢や目標に向かって粘り強く努力し続け、一つ一つ目標を達成し花を咲かせて行ってほしい、という願いを込めて、学校便りの名前を「念ずれば花ひらく」としました。